にじメディアを通してこれからの社会について考えてみませんか

弱さにある希望を伝える映像メディア

にじメディア

上映イベント vol.9~12

映像作品上映＆トークセッション

にじメディア第3弾

上映作品 働くことは生きること(仮)

監督：齋藤一男／制作：にじメディア制作委員会 2022年／45分予定

にじメディアの『働く』プロジェクトで応募いただいた
障害のあるお二人と、リカバリーカレッジ・ポリフォニー
3組の皆様と一緒に、様々な形の障害のある方の働くこと、
生きることについて考える3話オムニバス作品。





上映イベント vol.9~12 スケジュール(開演30分前より開場)

- ○にじメディア vol. 9　2022.11.19(土)13:30～16:00
- ○にじメディア vol.10　2022.12.17(土)13:30～16:00
- ○にじメディア vol.11　2023. 1.21(土)13:30～16:00
- ○にじメディア vol.12　2023. 2.18(土)13:30～16:00

[会場上映]と[オンライン配信]のハイブリッド開催！

本上映作品の出演者による
オリジナルグッズの販売予定です！

＊オンラインは上映作品のみ当日で、
当日のイベント映像は後日配信となる予定です。

会　場：さいわい福祉センター 東京都東久留米市幸町3-9-28 ／ [オンライン]期間限定映像URLでご提供します

参加料：700円(税込) 当日会場支払い ／ [オンライン]個人：600円(税込) 申込時支払い

定　員：各回30名(要申込) ／ [オンライン]どなたでもご覧いただけます(要申込)

ご予約方法

◉会場参加はこちらから
https://bit.ly/niji-kaijyousanka-3

電話＊(にじメディア制作委員会 齋藤)
042-458-0712

◉オンライン参加はこちらから
https://nijimedia-vol.9-12-online.peatix.com

＊オンライン参加のご予約は電話ではお受けできません。 ＊会場開催は、新型コロナウイルス感染症の状況次第で中止の場合がございます。その際もオンライン開催は行う予定です。 ＊今回オンライン団体視聴はできません。
＊その他、詳しくはにじメディア上映イベントvol.9-12特設ページ https://nijimedia-vol.9-12.peatix.comをご覧ください。 ＊オンライン参加申込について難しい場合は、お問合せ先までご連絡ください。

主催：にじメディア制作委員会　協力：一般社団法人Polyphonyリカバリーカレッジ・ポリフォニー　後援：東久留米市／東久留米市社会福祉協議会

新型コロナウイルス感染症防止のためのお願い(会場参加の場合)
①当日、検温・体温の事前確認をお願いします。風邪等症状がある場合、参加はご遠慮ください。
②マスクを着用の上、ご来場ください。

＊お一人でご予約できる最大人数は5名様までとなります。
＊キャンセルの際は、主催まで必ずご連絡ください。
＊入場料金の収入は全てにじメディアの運営に充てられます。

違う個性を生かしあい共に働き、良い物を産み出す。

障害などの枠組みを超えて、良い作品を作るために、一人ひとりの才能を表現しあい、
弱さを補いあい、そして生かしあい一つの映画映像作品を産み出す。
そのことを映像メディアという形で継続的に配信することで、にじメディアに関わる一人ひとり、
そして、にじメディア作品をご覧いただいたお一人お一人の中で
何か「希望」のようなものを感じていただけたらと心より願っています。

にじメディア第3弾作品 働くことは生きること(仮)



エピソード1 あかねさん編
出演者申込の募集を通してご出演いただいた塗り絵が好きというあかねさん。あかねさんの夢のお話しを聞くとまさかの展開が待っていて…。



エピソード2 ポリフォニー編
東久留米にある障害福祉事業所リカバリーカレッジ・ポリフォニーさんの皆さんの姿を通して、個性あふれる人たちの「にぎやかいろいろ」を体感できる作品。



エピソード3 岩井さん編
自閉傾向のある岩井さんの一人暮らしなどの日常風景や、にじメディア齋藤と岩井さんのやりとりを通して障害とは何か感じることができる作品。

第1部:働くことは生きること上映(仮)(45分予定) → 休憩(10分) → 第2部:トークセッション(90分、参加者質疑応答含む)

＊当日変更の可能性もあります。ご了承ください。 ＊最新情報はにじメディアホームページをご覧ください。 ＊全ての回の進行:にじメディア制作委員会スタッフが行う予定です。



本作品で行いました、にじメディアで『働く』プロジェクトとは　にじメディア映像作品をにじメディアスタッフと参加したいと応募していただいたプロジェクト参加者(出演とスタッフ)で一緒に作り、上映イベントを行うプロジェクトです。本プロジェクトのテーマ「働くことは生きること」を、プロジェクト参加者と上映イベント参加者が体感していただきたいというプロジェクトです。ひとりひとりに合った働き方、生き方を考える映像活動をしていきたいと思っています。
本プロジェクト撮影編集スタッフ:鰹形

トークセッションゲスト(予定)

[vol.9] 岩井 一彦さん(上映作品出演者)
中村 ひでみさん(岩井さん撮影同行者、保育士・相談支援専門員)
菅沼 玲子さん(岩井さんの妹さん、介護福祉士)
押山 道代さん(横浜市乳幼児一時預かり所まめっこひろば 施設長) 他

[vol.10] 時田 良枝さん(一般社団法人Polyphony リカバリーカレッジ・ポリフォニー 代表理事)
ポリフォニーの皆さん
有賀 達郎さん(多摩エリアつながり発見コーディネーター) 他

[vol.11] 加藤 茜さん(上映作品出演者)
加藤 祥子さん(あかねさん母、スクールソーシャルワーカー)
井口 啓太郎さん(国立市公民館 社会教育主事)
大森 梓さん(NPO法人障がい児・者の学びを保障する会 代表理事) 他

[vol.12] 齋藤 一男(にじメディア制作委員会 共同代表)
齋藤 奈央子(にじメディア制作委員会 共同代表)
認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ 他

◉サポーター会員、スポンサー募集中!

にじメディアをぜひ支えてください。サポーター会費とスポンサー費によってにじメディアは運営されます。ぜひご協力お願いいたします!詳細はにじメディア運営サポーター募集ページをご覧ください。お問い合わせは、にじメディア制作委員会まで。

◉にじメディア出演者、制作スタッフ募集中!

にじメディアに出演したい方(自薦他薦不問)とにじメディアの制作に関わりたい方、お気持ちのおありの方は経験の有無は問いませんので、ぜひ一緒ににじメディアを作っていきませんか?まずはお気軽ににじメディア制作委員会までお問い合わせください。



にじメディア
制作委員会共同代表
ロゴスフィルム映画監督
齋藤 一男

私は映画や映像を制作して、いろいろな方に見ていただくことを生業にしています。その中で私の中での中心的な活動として、障害のある方と共に映画を制作することがあります。そのことを通して、多くの課題と希望を見ることになります。その頃からにじメディアの立ち上げは私の中でありました。課題としては、障害のある方の仕事の選択肢の圧倒的な少なさ、そして仕事の種類の偏りを思いました。そしてそれは障害のある方だけでなく、私を含めた多くの生きづらさのある人、そして社会全体が同じ問題ではないかと思っています。希望としては、映画映像という表現手段が障害のある方との親和性がとても高いのではないかという点です。映画映像全般に紐づいた事業を、障害のある方と行うことを通して、これからの社会のあり方を多くの方と一緒に考えていきたいと思っています。皆様一緒に新しい形の社会を共に作っていきませんか?

にじメディアホームページ
https://nijimedia.net/

にじメディアフェイスブック
https://www.facebook.com/nijimedia

にじメディア運営サポーター募集ページ
https://nijimedia-group.peatix.com/

お問い合わせ先 ◉にじメディア制作委員会 Tel:042-458-0712(齋藤) E-mail:info@logosfilm.jp